



◆文化のみち二葉館 施設案内◆

文化のみち二葉館は建物が2000年に名古屋市へ寄付されてから5年の歳月を経て文化のみち(名古屋城~徳川園・東西約3km)の拠点施設として、東区榑木町に移築復元されました。「文化のみち二葉館」という愛称には、旧川上貞奴邸がかつて東二葉町にあり、「二葉御殿」という名で親しまれていたこと、また、新しい芽のふたばのように文化のみちが成長していくという期待が込められています。

大正9年に創建された「二葉御殿」は、日本の女優第一号と謳われた川上貞奴と電力王と称された福沢桃介が約5年間暮らしていました。館内では、貞奴・桃介の紹介とともに調度品などの資料を展示しており、当時の様子をご覧ください。



川上貞奴

明治4(1871)年生まれ。16歳で芸者となり、23歳で書生演劇の川上音二郎と結婚。川上一座のアメリカ巡業で、女優として初めて舞台に立つ。ヨーロッパに渡り、明治33(1900)年のパリ万博でマダム貞奴の名は、一躍有名になる。音二郎の死後、福沢桃介の事業パートナーとして、また自らも事業家として、「二葉御殿」で暮らした。



福沢桃介

明治元年(1868)生まれ。福沢諭吉の次女ふさの婿。名古屋電灯(株)の取締役となった頃から電力事業に乗り出し、大同電力(株)を設立。名古屋を拠点として、木曾川水系に大井発電所をはじめ7カ所の発電所を建設。電力王といわれた。



文化のみち二葉館 大広間

政財界の人物が集まりサロンとして使われていた大広間は、ニカ所のステンドグラスからこぼれる光が華やかさを演出します。二階へと続く螺旋階段もひととき優雅に広間を引き立てます。パネルやビデオで建物の歴史や文化のみちの町並みを紹介するとともに、企画催事などを開催して様々な文化を発信しています。



展示室(1階)

貞奴・桃介の生涯を紹介するパネルとあわせて、主に女優として活躍していた頃の資料とともに、二葉御殿を拠点に進められた木曾川の7カ所の発電所を紹介しています。



郷土ゆかりの文学資料展示室(2階)

近代文学の祖こと、坪内逍遙をはじめ、城山三郎(直木賞)、小谷剛(芥川賞)、江夏美好(田村俊子賞)、春日井建(迺空賞)など名古屋を中心とする郷土ゆかりの文学者および文学作品を、資料やパネルで紹介しています。また、当地において盛んに展開されてきた同人誌活動を振り返ります。書籍の一部は本棚に配架してあり、手にとって自由に閲覧いただけます。



※各展示室とも企画展開催時は展示替えします。

文化のみち二葉館 開館19周年

ふたばの日

令和6年2月8日(木)は◆終日入館料無料◆10:00~17:00

入館者プレゼント!

2月8日 先着100名様に記念品を進呈
◆2/8(木)10:00~
※混雑緩和のため、入館人数を区切って順にお入りいただきます



大正エレガント - 浪漫の薫りあふれる館 - ステンドグラスから色とりどりの光がこぼれます。文化のみち二葉館【名古屋市旧川上貞奴邸】は2005年に開館してから19周年を迎えます。開館日の2月8日が施設愛称の「二葉」と語呂が合うことから毎年この日を開館記念日「ふたばの日」として様々な催しをご用意して皆様をお迎えしております。ぜひこの機会にご来館ください。

新寄贈 お披露目

楠木正成 像・児島高德 像

◆2/8(木)11:00~ ◆会場:中庭

写真でたどる「川上貞奴」Part 2

語り:文化のみち二葉館 館長 緒方綾子

◆2/8(木)14:00~15:00

会場:1階 大広間



文化のみち榑木館も2月8日(木)は終日入館料無料

◆2/8(木)先着100名様に榑木館オリジナルグッズを進呈

川上貞奴と福沢桃介展

貞奴と桃介をエピソードとともに紹介

◆2/8(木)~2/15(木) ◆会場:2階 和室

川上貞奴の愛した雛人形とお琴

貞奴が大切にしていた雛人形とお琴の展示

◆2/8(木)~2/15(木) ◆会場:1階 展示室



川上貞奴の手描き雛の羽織

貞奴が描いた立雛をあしらった羽織の展示

◆2/8(木)~2/15(木) ◆会場:1階 展示室



郷土ゆかりの文学展

「辻真先ワンダーランド」

ミステリ作家・アニメ脚本家である氏の作品や直筆資料などを紹介

◆2/4(日)~3/10(日) ◆会場:2階 展示室

トークイベント

第一部「辻真先×アニメ×脚本」

映像解説:辻真先(作家・脚本家)

催事の詳細は
中面をご覧ください

第二部「辻真先×ミステリ×名古屋」

対談:辻真先(作家・脚本家)、太田忠司(作家)

◆2/17(土)第一部13:00~14:15、第二部14:30~15:30

◆会場:1階 大広間 ※当日先着自由席

日本の戯曲研修セミナー in 東海 2023 特集 川上貞奴

浄瑠璃版「滝の白糸」

出演:常磐津網鵬、LONTO、古家暖華

浄瑠璃台本・演出:木村繁

◆2/9(金)15:30~

2/10(土)11:00~、14:00~

◆会場:1階 大広間 ※当日先着自由席

パネルディスカッション

ゲストパネリスト:ふじたあさや(劇作家、演出家)

◆2/10(土)15:00~

◆会場:1階 大広間 ※当日先着自由席

主催:一般社団法人日本演出者協会
共催:文化のみち二葉館

主催:文化のみち二葉館 協力:川上家、成田山真照寺、文化のみち榑木館、東区文化のみちガイドボランティアの会、一般社団法人日本演出者協会、福よせ雛プロジェクト、古裂美術工房、画家・柳瀬辰久、山田久仁夫、名古屋市鶴舞中央図書館、愛知県図書館、愛知県立明和高等学校(順不同 敬称略)

文化のみち二葉館 【名古屋市旧川上貞奴邸】

名古屋市東区榑木町3丁目23番地

TEL/FAX 052-936-3836

URL <https://www.futabakan.jp/>

開館時間/午前10時~午後5時

休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)



交通のご案内

●なごや観光ルートバス メーグル「文化のみち二葉館」下車 ●地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分 ●名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分 ●市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分 ●基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分

*駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

ドニチエコきっぷ 一日乗車券・24時間券を利用してお来館の方は、
文化のみち二葉館 入館料割引! 一般 200円 ▶160円

文化のみち二葉館 【名古屋市旧川上貞奴邸】